

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 2 区分

【発行日】平成31年4月11日(2019.4.11)

【公開番号】特開2018-45250(P2018-45250A)

【公開日】平成30年3月22日(2018.3.22)

【年通号数】公開・登録公報2018-011

【出願番号】特願2017-225309(P2017-225309)

【国際特許分類】

G 0 3 G 21/14 (2006.01)

G 0 3 G 21/00 (2006.01)

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

G 0 3 G 15/00 (2006.01)

B 6 5 H 20/02 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 21/14

G 0 3 G 21/00 3 8 4

G 0 3 G 15/20 5 1 0

G 0 3 G 15/00 4 1 1

G 0 3 G 15/00 4 1 3

B 6 5 H 20/02 A

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月26日(2019.2.26)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

連続紙を搬送する用紙搬送部と、連続紙上に画像を形成する画像形成部と、前記用紙搬送部を制御する制御部と、を有する画像形成装置、及び

該画像形成装置に対して連続紙の搬送方向における下流側に設置され、前記画像形成装置から搬送される連続紙を支持軸に巻き取る巻取装置、を備えた画像形成システムであって、

前記制御部は、

ヤレ紙抑制モードが選択されている場合には、連続紙上の最終画像後端が前記画像形成部を通過した後、前記支持軸に巻き取られる位置よりも上流側であって、連続紙上の最終画像を目視可能な位置まで搬送して停止する様、前記用紙搬送部を制御することを特徴とする画像形成システム。

【請求項 2】

前記制御部は、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されていない場合には、連続紙上の最終画像後端が前記支持軸に巻き取られる位置まで搬送して停止する様、前記用紙搬送部を制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像形成システム。

【請求項 3】

前記制御部は、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されていない場合には、前記画像形成部による画像形成の開始前に前記用紙搬送部により所定時間連続紙を搬送する蛇行安定待ち処理を実施し、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されている場合には、前記蛇行安定待ち処理を実施しないことを特徴とする請求項 1 又は 2 に記載の画像形成システム。

【請求項 4】

ユーザーが、画像形成動作の種類に応じて前記ヤレ紙抑制モードを設定可能な設定部を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 3 の何れか一項に記載の画像形成システム。

【請求項 5】

画像形成動作の種類は、確認用のブルーフ印刷、連続紙上の画像形成領域のサイズが所定長さ以下の一画像印刷、連続して画像形成動作を行う連続印刷を含むことを特徴とする請求項 4 に記載の画像形成システム。

【請求項 6】

前記設定部により、前記連続印刷に対して前記ヤレ紙抑制モードが設定されていた場合、

前記制御部は、

連続紙上の最終画像後端が前記画像形成部を通過した後、次の画像形成動作が予約されているか否かを判断し、次の画像形成動作が予約されている場合には、当該予約された画像形成動作の前の画像形成動作を前記ヤレ紙抑制モードで行うことを特徴とする請求項 5 に記載の画像形成システム。

【請求項 7】

前記支持軸に巻き取られる位置の上流で且つ前記目視可能な位置の下流に、連続紙の切断を行う切断部を備えることを特徴とする請求項 1 ～ 6 の何れか一項に記載の画像形成システム。

【請求項 8】

前記画像形成装置は連続紙上に形成された画像を定着させる定着部を有することを特徴とする請求項 1 ～ 7 の何れか一項に記載の画像形成システム。

【請求項 9】

前記制御部は、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されていない場合には、連続紙を前記定着部に接触させた状態で搬送する定着冷却処理を実施し、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されている場合には、前記定着冷却処理を実施しないことを特徴とする請求項 8 に記載の画像形成システム。

【請求項 10】

前記定着部は、圧着及び離間可能なローラー対を備え、

前記制御部は、

前記ヤレ紙抑制モードが選択されている場合には、

画像形成動作を終了する際の前記ローラー対の離間タイミングを、前記ヤレ紙抑制モードが選択されていない場合より早くすることを特徴とする請求項 8 又は 9 に記載の画像形成システム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記課題を解決するため、

本発明の一の態様によれば、画像形成システムにおいて、

連続紙を搬送する用紙搬送部と、連続紙上に画像を形成する画像形成部と、前記用紙搬送部を制御する制御部と、を有する画像形成装置、及び

該画像形成装置に対して連続紙の搬送方向における下流側に設置され、前記画像形成装置から搬送される連続紙を支持軸に巻き取る巻取装置、を備えた画像形成システムであって、

前記制御部は、

ヤレ紙抑制モードが選択されている場合には、連続紙上の最終画像後端が前記画像形成部を通過した後、前記支持軸に巻き取られる位置よりも上流側であって、連続紙上の最終画像を目視可能な位置まで搬送して停止する様、前記用紙搬送部を制御することを特徴とする。